夕刊
磐城新聞
六月二十一日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢
廣告料金（普通欄 一行金六拾錢 特殊欄 一行金九拾錢）
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇六五五八番

天氣豫報　小名濱測候所發表
今晩　北東の風 曇 驟雨模樣あり
明日　同じ

歌の本質に就て

山本生

人間には肉體の眼が必要であると共に、心の眼が必要である。肉體の眼を以て正しく宇宙萬物を見るの必要なると共に、心の眼を以て、すべての事象の内にあらはれる原則を見なければならぬ。この心の眼を缺如しては、宇宙人生は、まことに索漠たるものとしか、われらの眼に映らぬであらう。

フレーベルは宇宙萬物に示現する神を直視せしむることを以て教育の目的とした。これがすなはち、子供の心の眼を開いてやることに外ならぬ。個々の事物についての、科學的説明は勿論必要であるが、それと共に、その根本に於て、全體的調和を見せてやることも必要である。全體の一部としての個といふことが、科學的に正確に把握されたならば、子供はすでに、國家の一員として神の國の民としての基礎を與へられたものといふことができる。

童話の使命は、子供に人生の見方を教へることにあるといふことは、三十年來の私の童話研究の基礎觀念である。分化的に、斷片的に、人生についての知識を教へることは、外に其の道がある。童話にまつでなしに未分化的に、基本的に、人生を見る態度を教へるのである。唯、機械的に、人生を教へる物ではなくして、物質の奥に、機械のかなたに存在する法則を直視せしむる。それが童話の使命であると私は思ふ。かかる人生の見方は宇宙萬物に於て、神の示現を把握したフレーベルの宗教と共通するものである。而して、かかる教養こそは、後年成人としての生活に、力あらしめ、味あらしめ、信念あらしむるものであることを信ずる。

されば童話は、形の上において美しく、構想に於て面白いことを必要とするはいふまでもないが、その上に精神的に高貴である事を必要とする。語るもの自身作るもの自身が正しく全體の一部としてその個的存在を宗教的に意識し、おのれの裏に萬物の鼓動を感じ、あらゆる複雜なる人生の事象の裏にも、法則と精神とを見得る人であれば、その語るところ作るところ、おのづから高貴なるものを映發すべきである。かかる童話は個人と共に、國家を幸福に、社會を幸福に、人類を幸福にするものである。童話教育の勃興は、兒童のため、國家のため慶賀に堪えぬ。

湯本短歌會詠草（十一）

即詠題「紙」

○拜殿に一面貼れる戰勝の、祈念の小紙幕いと白しも　森　花葉

○春雷のはためき來れば櫻花、紙のごとくに色褪せにけり　結城みち子

○珍らしきわが檜吉は歌もふと、紙持ち去りつ姿を見せず　渡邊隆二

○わが願ひ成るかならぬか紙礫、仁王の腹に打ち附けにけり（某寺院にて）　野本多霞夫

○紙一重障子に響く郭公の、聲にあがりて行く梅雨の雨　田中賢介

賀草野瑞夫君卒業醫科

漆峯　小野鐐平

學窓多歲苦艱經
修得醫方技亦靈
努力祇當事仁術
杏林他日仰明星

6月22日

△二股川の合戰畠山重忠戰死す（元久二）△岩佐又兵衛歿（慶安三）△台灣總督府開廳（明治二八）

○牛啼いて鼠の應せざるは牛の聲を聞かざるに非ざるなり、類を異にするが故なり　烈女傳

講談　恩讐無道（131）

久我荘多郎作　香川三十代畫

異人屋敷（二十二）

くらい——暗い……

自分の周りにある空氣も暗い、自身の心も晴れるところなく陰濕だ。

（どうなるのだらう、わたしは？……わたしの行末は？）

それを思ふと、たまらない。この倉庫の闇よりも一部はげしい暗黒が、ホッカリ心に大きな穴をつくるのである。

泣くにも、もう涙は涸れてしまつた。希望も何もメチャメチャだ救ひを求める氣力もうしなつてゐる。たゞ、漆黒の闇と向き合つてはかなく暗いおのれの運命をボンヤリと見詰める民子である。

紺屋町の踊り師匠の宅へ出てたそがれの道を歩いてゐた時、民子は、ふと誰かに呼びかけられたものだ。

「もオし、あなたは師崎屋さんのお嬢さまぢやございませんか？」

振返つてみると、そこの河ッぷちに馬車が停まつてゐる。呼んだのは四十ちかい馭者風の男だつた。が、民子には見覺えのない顏である。だから、それが不審で、

「ね？」

足は止めたが、怪訝な顏で立つてゐるとその男は、ニコ〜しながら近付いて來た。

「ねえ、師崎屋さんのお嬢さまでございませう？實はあつしは……」

と、寄つて來るなり、ふと右の手を上げて、民子の鼻のところへ持つて來た。その手に、白い布が摑まれてゐる。

何となくハッとした民子が、思はず二三歩後退らうとしたが、どうしたといふのであらう、この時民子の意識はもうろうと夢心地になつてしまつた。

それから——自分がどうなつたか、知らない。こんど氣が付いてみると、おのれはこの倉庫の闇の底に、縛目を受けて居るのだつた。

よく考へてみると、あの時、男が摑んでゐた白い布に何か魔藥を[illegible]じゐたのだらう、民子は諦らずとその香をかいで意識をうしなつたものに違ひない。

意識が回復して

「あッ」

と驚きはしたが、荒繩で縛られてゐる身に、身動きも出來ないし猿轡をかまされてゐる以上、聲を立てる術もなかつた。

昨日まで、父の愛撫を膝いつぱいに受けて、幸福であつた身は、いつぺんにどん底へ落ちたのだ。はふり落ちる涙を拭ふことさへ許されないみじめさ。

そして、早や十日ばかり經つた。

こゝは地底になつてゐるから、一切光りといふものを奪はれてゐるので、晝間と夜とのけじめがつかない。たゞ三度々々運ばれる食事によつて、わづかに時の推移を知るばかりだ。

いつでも、民子の思ひ出されるのはやさしい父の面影である。

「わたしが、急にこんなところへ連れて來られたのだから——お父さま、どんなにビックリなさつてゐられるだらうか——あゝ、お父さまに會ひたい、お父さま、お父さまに……」

民子はこんな闇と一つになつて毎日泣いてゐるのです。

どうして自分にこんな不幸な運命が襲つて來たのか？考へてみても考へ當るところはない。香も花も、泣きつづけたその涙が涸れてしまふと、あとはボンヤリとおのれの運命と對座するより他、なすところを知らぬ民子である。

民子には、自分がいま、埋められてゐるこゝの、地の理さへわからなかつた。

闇だけがシットリ取卷いて、ムシ〜としてゐる以外には、時折ヒタ〜とよせ來る水音だけが聞えて——こゝが海か川か水に近いといふことを知るばかり。

今も、その水音を耳にしながら民子は、かなしく自分の行末を考へてゐた。

氣が付くと、頭の上で、人の足音がしてゐるのだ。

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
内務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長 醫學士 金森五郎

ダイヤ高價買入
平市一丁目二四
澤井

おでん、やき鳥
小鳥燒も初めました。
お酒のあとに おけさめし
平市三田小路（三丁目裏）
おでん 茶めし 酒の家
味郷

鑑定項目
名前のみで一代の運命 何んでもわかる……
体力（肉体・疾病）（健康、不健康、相貌）（病根病勢、病名）に關する一切
活動（職業・天運）（適業、不適業）（天運、成功、不成功、炎厄）に關する一切
血緣（家族運・男女緣）（父母の緣、夫婦の緣、子供の緣）有無（氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名
日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町三六

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたします。お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

平病院（平市元共濟病院跡 電話六四一番）
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 小兒科 院長 鈴木定藏
内臟外科 一般外科 皮膚尿泌器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間……毎日午前八時ヨリ午後九時迄 夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

低温殺菌
岡田牛乳
伸びよ太れよ牛乳飲んで
平市鎌田町
電話五一

高久病院
平市田町（電話五三一番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽精
藥劑士 佐竹[illegible]
内科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
（看護婦至急募集）

日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社石油特約店
福島縣平市一丁目（電話六十一番）
株式會社 關彰商店平支店
本店 茨城縣下館町 電話五五、三三九番
支店 茨城縣土浦町田宿 電話六五三番
茨城縣久慈町 電話一三七番
茨城縣多賀郡關本驛前（電話大津一四七番）
福島縣四倉驛前（電話平潟五四番）
福島縣小名濱町 電話四八番
油槽所（常磐線泉驛前）
海岸給油所（大津港、平潟港、江名港）
ガソリン給油所（土浦町新國道日本石油給油所 電話八二番四）

萬病克服が出來るか 何故保證
自の魂
電氣の何倍もの力がある超短波也
故にゴムガラス陶器何んでも電氣の不導体を透す品なら、着物の上から使用しても骨肉中の病菌は征服出來る品なり。
高血壓が一回の放射で血壓が廿下つた。泣く程痛い虫齒が十分間で止つた。十八才の娘夜尿症が二回で治つた。入院して癒らなかつた中耳炎が卅一回の放射で全快した。夜中胃ケイレンで困つたのが一回で安眠出來たと云ふ症狀が餘り澤山なので新聞には書けないが、どんな難病でも癒らないと思はないで、實驗所で實驗して頂ければ自の魂で癒せる事が判つて頂ける確信致します。
適應症
婦人病 尿道病 糖尿病 心臟病 腎臟病 中風 高血壓 脚氣 動脈硬化 ゼンソク
胃腸病 肺病 ロクマク 肺炎 神經痛 ロイマチ 夜尿症 痔疾 カリエス ルイレキ 百日セキ ヒステリ
其の他慢性急性諸病
一週間で萬一治る見込のない時は返品自由。體を動かせない方には機械を御貸し致します御宅で御使ひ下さい。
機械は二十圓台より各種あります。地方の皆様のため平市に實驗所を設けました、遠慮なく相談實驗下さい。
超短波放射快癒機自の魂販賣と修理
自の魂平實驗所
平研町公園下（電呼）六五二

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者 強口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

神經痛・ロイマチス
漢方塗布藥 百草根
藥價 三〇錢 一五〇錢 五〇〇錢
陸海軍病院御用藥
平代理店 丸亀商店
平市大町 電話一三三番

實株は買ツテ御手元へ
必ズ儲カル優良株
投資指針
◎支那事變公債四萬圓マデ買マス
平市四丁目三十三
富岡株式店
電話三五八

全校一千の生徒が 應召の手不足を緩和

昨日から磐女の新企畫

縣立磐女の夏休み中に於ける集團勤勞は大體昨報の如く、全校一千の生徒は來月二十一日休みに入ると同時に眞夏の灼熱と闘つて大に非常時氣分を漲溢させる筈であるが、之より先き昨今の農繁季に處し昨二十日から公務出動で手不足な方面をはじめ農家關係生徒の爲め二十七日迄授業を午前中に短縮し農事を手傳はせる事になつた外此の機宜の取斗ひによつて便宜を得た二百餘名を除く一般生徒は午後校内に止まつて應召家庭の爲め裁縫其他に奉仕中で時節柄この新企劃は少からず喜び迎へられてゐる

團長留任交涉 頻り

新團則制定をいそぐ

市内各青年團

［既報］國体明徴外八項目裏るので若干の新人も登場の達成を目的として生れ出するであらうし、また青年ら新生「平市青年團」の團學校生其他「青拳部隊」の則は十九日開かれた最後の新加入によつて若々しくも協議會に於て既報最高年齢力強い第一歩を踏み出すわ原則二十五年を三十年とけである た外殆ど原案の決定を見たので市では更に各分團の團則制定を促進することなり、二十日これが標準則を各分團宛送付した

これに先立ち市内各青年團には目下三十年以上の團員の辭職届が取纏めて提出されてゐるが團長はその年齢も三十年を超ゆるも差支へなきことになつてゐるので大部分は現團長の留任方を交渉してゐる模様であるしかし團長に限り團員以外のものを推擧することとなり出

將棋入賞者

平將棋互樂會主催第十三回市長並に報知盃爭奪大會は二十日市内吉田屋に開いたが入賞左の如く三等賞飯田亀吉氏は今年八十歳の高齢である（入賞順）

佐藤治、吉田資吉、竹田太吉、平佐藤平兵工（豐間）鈴木春海（同）神保市藏（同）（平）石口小彌太（小川）飯田亀吉（豐間）栗野茂吉（好間）△市長盃報知盃大和田新一郎

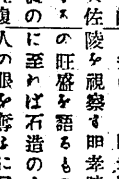
一の萬の場合は富岡から

紹介所勞力補充準備

郡下の田植はこの二三日が最盛期で各部の勞力班移入を目下空梅雨で一部に水論み用意をさ〳〵怠りなく不足を來たしてゐるところもあるが目下着々進められて居りこの分で一雨來れば急に農家は忙がしくなるわけだが、さらだに銃後手不足の折柄平職業紹介所でも萬一に備へ富岡紹介所と連絡して石城地方より一人と足お先きに濟ん

上海から

野崎滿藏



航空便にて

王大臣は「王閣下が居らるれば何とか方法もあるならんも生憎不在失禮のみ致し申譯なく」とて參考書類等を寄與して上海にし」

秘書及科長が方三名と同道不在

會議があり出席不在との事せら科長李希文氏面會せら科長李希文氏面會せら科長李希文氏面會せら

十五日午前九時中山路より遊覽バスに乘車し鼓樓南京城壁玄武湖を見て軍官學

蓮沼本社長 中支へ出發

昨秋冬へかけ前後一ケ月半に亘り鮮滿產業視察北支皇軍慰問の旅に貴重な体驗を得た本社長蓮沼縣議は縣參事會員から成る縣代表中支皇軍慰問使の一員として二十六日東京出發二十八日乘船するが旅程は漢口方面奥地迄で前後四十八日間歸りは八月中旬になる豫定である

交友會總集

内鄕村委員例會を二十六日市會議

貯蓄額も增加して 非常時生活を强調

市役所の新方針成る

「一億一心、百傳貯蓄」をスローガンに實施中の國民貯蓄運動に關し市では過日中を通じ講演會、貯蓄組合增加等の奬勵運動を市内方面に徹遍する外「物資節約、交際儀禮」の非常時家庭生活實踐項目の徹底をはかり又市役所内にはさきに定めた俸給、賞與の貯蓄額を從來に比し若干增額し、吏員一体となつて百億貯蓄の線に沿ふことゝなつた

二つ月目で頸が漂着

病弱に呪はれた投身青年

市内提の内食肉商鈴木甚三月二十日哀切の遺書を殘し郎養子庄一（二二）は適齡に相入の濱海岸鰐ケ淵に投身あ當り乍ら病弱の爲め時局のお役に立たれを悲觀去る四体未發見のまゝ今日に及ん

傷害致死に

懲役二年判決

錦村の建具職人酒の上で同僚タヒ首ヲ突き刺し死亡せしめ錦村中田菅野敏男方建具職ヨ江武夫（二九）にかゝる傷害致死事件の公判は二十一日平支部で開廷、檢事求刑四年に對し

滿洲へモシモシ 一通話七圓で

平からも通話可能

遞信省が三ケ年の日子と莫大な費用を投じて建設中の日滿電話ケーブルは此程完成去る十五日から先づ東京奉天電話線福岡奉天電話線が開通同時に豐ノ假開通中の大阪奉天電話線も愈々本格的裝備を了へたので日滿電話は從ノ有線、無線併せて五回線となり平からの通話なども極めて明瞭に、取扱は一層迅速を加へることゝなつたが一通話時の料金同三年の判決がなつた

貯蓄を語り合ふ

平税務署で座談會

あす平稅務署で支那事變國債及び貯蓄債券午前十時から平稅務署樓上の消化は時局柄各自の愛國に於て預金部資金局仙臺支心から地方でも賣り出しの局長たち松山仙稅局長臨席都度願る好成績を擧げつゝの上左記に關する座談會をあるが尚は一段の徹底を期備するため

一、內閣遞牒、俸給、其の預金部資金局仙臺支他より貯蓄すべき貯蓄額局、福島縣、日本勸業銀行、更に關する事項仙臺鑛山監一、貯蓄債券購入勸誘方法督局に關する事項

合同主催の下に明二十二日

長久保技師興亞院へ

華北連絡部で土木を主宰

湯本町出身大阪府道路課長（高等官三等）長久保俊夫氏は今回興亞院華北連絡部入も北京に在つて某方面の土木部門を主宰する事となつたので此程歸鄕の上今春平署に擧げられて相馬郡小長野縣小諸町に於て物故高町での自轉車、白米泥を走する事となつた氏は上田中學より一高を經て大正十三年東大工科を卒業、復興局土木部、內務省土木局第一技術課などを經て去る九年大阪府工營課長、十一年道路課長に就任し昨年四月へエーグル開催の萬國道路會議に政府代表として出席の後ドイツを中心にヨーロッパ各國の新興道路事業を視察、最近歸朝したばかりだつた、曾て海軍兵學校に在學したことがあり本年四十四歲の働き盛りである

兩組合管理者決る

小川江筋組合管理

者は縣地方課長岩瀨森次氏於て開會、園谷清、山崎辰に、鮫川堰組合同上は水產課長安技治平氏に決定

鼠賊二件

東京市淺草區北原町荒井進（二〇）は十八日神谷村農鹼木武夫方から洋服衣類四十圓分を盜み同町柴田小林孝次方から腕だ時計（四圓）同町天干崎齊藤義美方から現金十八圓と衣類七點を窃取本署に檢舉

鯨岡共同作業開始

部落の共

市内鯨岡部落の共同作業は昨十九日から「勤勞報國」の旗を押し立てゝ開始され、二十日午後三時青沼市長が實況を視た

遺家族定期慰問

市では二十二日市内出征遺家族の定期慰問

變死傷一束

內鄕村白水、入山炭礦川平坑夫曲婚佐藤ハろみ（四）は二十日夜十時半頃坑內作業中落盤で重傷死

また湯本町入山炭礦坑夫平松術（四五）は二十日午前三時ごろ坑內で炭車運搬中、炭車の下敷となり慘死

平市慶弔錄

○出生　中平窪宇富貴內當時東京市向島區吾嬬町西六丁目小野初治さん二女マサ子さん

二十二日

【小名濱側候所觀測】

高潮　午前二時二五分　午後二時一五分
干潮　午前八時一五分　午後八時五〇分

昭和五年　六月　二十二日　庚寅　佛滅　成

家庭料理

平保健所栄養指導員　成田君子

鯖の献立

鯖煮り茶、キャベツ胡瓜漬物

鯖　六五瓦中三分ノ一尾
醬油　八〇
胡瓜　二〇
キャベツ三〇　小葉一枚位

計蛋白質一一・八瓦　温量一九三カロリー

［調理法］鯖は二種角位に切り、メリケン粉をまぶし油で揚げ、フキノトは外皮を去り一寸位に切り鍋の鯖と共に砂糖・醬油で煮る、キャベツ、胡瓜は適宜に切り盛もみとなす

けふの獻立

平保健所栄養指導員　成田君子

タヒ鯛　ヒマナ鰹　エビ帆立貝柱　白魚　ウニ貝燒

冷カヅノコ

マサ子さん

二十二日

【小名濱側候所觀測】

高潮　午前二時二五分　午後二時一五分
干潮　午前八時一五分　午後八時五〇分

昭和五年　六月　二十二日　庚寅　佛滅　成

吸入用酸素 純度99%

度量衡 モノサシ マス ハカリ 計量器

体温器　秤ノ取締
寒暖計　繩張シマス。

關内藥局 電話四〇番

耳鼻咽喉科專門 レントゲン科 高柳醫院

醫學博士 高柳博明

平驛前 電 三三六

重田眼科

平驛前通り　元貯蓄銀行跡

眼科一般 眼鏡檢定

醫師 重田景治

平市田町一番地

難波醫院

內科
小兒科
一入院應需
自炊の便あり

平市大町 電話五四二番

（看護婦見習、看護婦募集）

醫學博士 難波睦

夜間診療 胃腸肝病 專科

內科
胃腸病科
肝臟病
性病科
皮膚科

（平市南町會明館一〇七番）

國は二ツポン・魚は凍魚

日本水產特約 卸小賣 平製氷會社（電三三八・三二六）

ヒラメ凍魚

平代理店 四丁目 魚問屋 電五三八番

配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

母キン儀十九日午前八時心臟痲痺にて死去致候間此段御通知申上候

追而葬儀ニ二十二日午後二時自宅出棺佛式ニ依リ相營申可候

昭和十四年六月二十日

石城郡玉川村大字岩出

男 山野邊庄吉